

牛久：学校周辺に見る自然

第12号 みずべ公園、牛久自然観察の森

2015年11月11日発行

＜ 自然のかくし絵 ～ いくつ見つけれられるかな？（解答） ＞

みなさん、こんにちは。今回は、前号の「自然のかくし絵」クイズの答えです。前号の写真で、その生きものを赤まるで囲み、拡大写真をつけました。さて、いくつ見つけれられたかな？



ナラメリンゴタマバチによる虫こぶのとなりに産みつけられた、ハラビロカマキリの卵のう（赤まる内：右は拡大）。
2015年10月29日 みずべ公園

第1問. 写真中央のやや右上、太めの枝にコブのようなものがついていますね。このコブは「ナラメリンゴフシ」といって、小さなハチの仲間がコナラの芽に卵を産んでできたものです。古くなっても落ちずに残ったのでしょう。そのコブにまぎれて、左側に産みつけられていたのがハラビロカマキリの卵のうです。大きなコブが目立つので見落としがちかな？と思いましたが、かんたんでしたか？

第2問. 「ある昆虫」というのは、シャクトリムシ（シャクガの仲間の幼虫）。イヌツゲにいたオオカマキリを観察していて、ふと足もとを見たら動くものが出て、じっと見たらシャクトリムシでした。動かなかったら、たぶん気がつかなかったと思います。



腹部のあし（本当の足ではない）で葉につかまり、枝のように見せるシャクトリムシ（シャクガの仲間の幼虫）。赤まる内：右は拡大。
2015年9月24日 みずべ公園



コナラの葉の色に似て、見つけにくいトビナナフシ(赤まる内：左、下は拡大)。 2015年10月24日 牛久自然観察の森

第3問. トビナナフシです。「1匹とは限りません。」といましたが、2匹います。葉の色によく似て、むずかしいと思いましたが、いかがでしたか？触角が長いのと、小さなはねがあることで他のナナフシの仲間と見分けられます。



スペースが余ったので、おまけに10号でも紹介したツマグロヒョウモン。きれいで目立ちますが、毒チョウのカバマダラによく似ていて、鳥などに食べられにくいそうです。でも、このもようはメスだけなんです。オスは食べられてもいいのかな??? 【理科支援員：宮内】

